

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業 建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

個18事06

政策名	4 環境にやさしい港	23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	港宮部 海務課長
基本施策名	06 秩序ある港湾環境づくり	事務事業	成果	コスト	連絡先 連携課	052-654-7880
個別施策名	18 港湾エリア(臨港地区、港湾区域)を適正に開発・利用する					
事務事業名	06 港湾区域内の大型漂流物除去	継続	維持	維持	事業 期間	昭和61年度～継続
目的	航行船舶の安全確保を図ります。				根拠 法令等	港湾法
概要	作業船による巡回及び通報により確認された港湾区域内の大型漂流物等を迅速かつ確実に除去します。(除去作業は委託事業者が行います。)				実施 義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	土日休日夜間を除き、委託事業者の作業船による巡回を毎日実施します。また、漂流物情報があれば直ちに対応します。 必要に応じて運河河川の漂流物にも対応します。				関連 シート	

2 DO(実施)

24年度に実施した 内容・結果	土日休日夜間を除き、委託事業者による巡回で発見した漂流物を回収し、また、内外からの漂流物情報には迅速に対応しました。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	31,978	14,594	26,226	19,522	22,200	(款項目節) 歳出:建設費/環境整備費/単独事業費/委託費
一般会計	千円	31,978	14,594	26,226	19,522	22,200	(算出計算式)
事業会計	千円						
その他	千円						
人員費 計	千円	1,754	1,716	1,696	1,724	1,743	(その他) 18~20年度は施設修繕のため委託費増額
正規職員	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	千円	33,732	16,310	27,922	21,246	23,943	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
大型漂流物除去件数(件)	目標	-	-	-	-	-		-	
	実績	2,098	2,029	1,863	2,986	2,933			
	達成率(単年度%)	-	-	-	-	-		-	
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-		-	
大型漂流物による海難件数(件)	目標	0	0	0	0	0		0	迅速かつ確実な対応により港内での海難発生を未然に防ぎます。
	実績	0	0	0	0	0		0	
	達成度(単年度〇/×)	〇	〇	〇	〇	〇		〇	
	達成度(累計〇/×)	-	-	-	-	-		-	
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)						その他特記事項	
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> 〇・× <input type="checkbox"/> 船舶航行の安全確保のため必要です。							
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> 〇・× <input type="checkbox"/> 頻繁に外部からの漂流物情報があります。							
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 〇・× <input type="checkbox"/> 港湾区域の船舶航行に支障のある障害物除去は港湾管理者の責務です。(港湾法)							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> 〇・× <input type="checkbox"/> 漂流物による海難は港湾管理者にも問責あると思われるので目標は妥当です。							
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> 〇・× <input type="checkbox"/> 漂流物による海難は発生していません。							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> 〇・× <input type="checkbox"/> 船舶が水域を適正に利用できています。							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 〇・× <input type="checkbox"/> 委託事業者が最小人員で対応しています。							
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 〇・× <input type="checkbox"/> 多数の水域利用者が委託事業者への会費負担を行っています。							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 〇・× <input type="checkbox"/> 現在の委託事業者以外に本事業のノウハウをもっている事業者がありません。							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による 今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			水面においても良好な環境を維持することが必要のため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
引続き、同程度の規模で事業を継続していきます。				